



# 横浜訓盲学院 だより

第37号 (2016年7月号)

2016年6月28日発行

〒231-0847 横浜市中区竹之丸181番地 URL : <http://kunmou.jp/>

代表 TEL:045-641-2626 FAX:045-641-2627 E-mail : [jimu@kunmou.jp](mailto:jimu@kunmou.jp)

普通部 (直通) TEL/FAX:045-662-1710

理療科 (直通) TEL/FAX:045-662-1833



## 鉄線走

学院長 中澤 恵江

5月最後の土曜日に運動会が開催されました。雨は前日の昼過ぎにはあがり、当日は運動をするに最適な涼しい一日となりました。

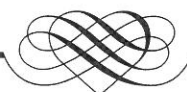
4月の第二週に新年度が始まり、幼児児童生徒・教員ともに新たなメンバーを交えて、期待と緊張感のなか、各グループの教育活動がスタートしました。緊張が徐々に和らいで、教員とのかかわりが深まっていくのは5月、そのタイミングに最初

の全校行事である運動会が行われます。

運動会の準備では、個々の子どもたちの力の発揮だけでなく、仲間を意識し協力し合うグループ演技を通した学びがあります。同時に、新旧の教員が助け合いながら準備を進める中で、教員間の連帯と理解が進むときでもあります。準備した演技が本番で成功したときの達成感とよろこびは、大きな自信となって次のステップにつながります。そしてご家族や保護者のみなさまにとっては、子どもたちの一年ごとの成長を確かめ、他のご家族と共に応援し、よろこびを共有できる貴重な機会となっています。

演目や競技は毎年少しずつ変わっていきますが、運動会の最終競技は不動の「鉄線走」です。しかも全員が参加します。鉄線走とは、視覚障がい者が安心して全力疾走できるように作られた器具をつかった競技です。二本の鉄柱に張られた25メートルの鉄線に、バトン型の鉄管を通し、その鉄管を握って往復50メートルを走ります。普通部の子どもたちは紅組白組に分かれて、リレー形式で参加します。全力疾走あり、「合理的配慮」を受けながら精一杯体を動かすことあり、たびたび立ち止まりながら最後までゆっくりと歩くことあり、時に反対方向に戻ってしまうことあり。観戦している保護者・教員・ボランティアたちはハラハラドキドキ、激励の声で走者を鼓舞し、その頑張りに歓声をあげます。

小学1年から生活科3年にいたる15年間、運動会が巡ってくる度にこの鉄管を握って子どもたちは走ります。昨年の、一昨年の、あるいは幼いころの姿が、今、目の前を走る生徒の姿に重なります。最後のリレー走者がゴールに走りこんだとき、大歓声のなか、なぜか笑いながら涙があふれてきました。



「求めなさい。そうすれば、与えられる。」

マタイによる福音書7章7節

《7月の聖句》願う前にあきらめてはなりません。求める中で、成長することが大切です。





4月8日(金)、前日までの雨空がうそのように晴れわたり、春の香りが満ちあふれる青空の下で入学式が執り行われました。

2016年度は幼稚部3名、小学部1名、中学部2名、高等部専攻科生活科1名、転入生1

名、高等部専攻科理療科3名の新入生・転入生が入学しました。式で名前を呼ばれた新入生は少し緊張した面持ちでしたが、元気な笑顔で挨拶してくれました。式辞では中澤恵江学院長が、一人ひとりに温かい歓迎の言葉をかけられました。新入生たちは希望と期待を持ちながら入学されたことでしょう。

式の後には、向かいにある柏葉公園で記念撮影をしました。保護者や担任の先生達と一緒に、みなさん最高の笑顔で記念写真に収まりました。満開の桜に包まれた景色はまるで輝いているように見え、新入生たちを祝福してくれるかのようでした。



5月10日(火)、葛西臨海公園へ遠足に行ってきました。水族園では「タッチフィーリン」というサメを触る体験をしました。係の方の注意をしっかりと守り観察できた生徒や、腰が引けながらも水中へ手を入れることができた生徒

など、それぞれに応じた楽しみ方で、貴重な経験をすることができました。その日は私達の他にもたくさんの団体客が来園し多少の待ち時間もあったのですが、列を崩すことなく並んで待つことができ、みんなとても立派でした。その後は、水族園の展示を見る班と、買い物をする班に分かれ、個別の活動を楽しみました。

前日までの天気予報は雨でしたが、日頃の行いが幸いしたようで日中は薄日が差すほどまで回復し、昼食は広場の



芝生の上でいただきました。海風を感じながらのお弁当は格別で、あっという間に食べ終えてしまう生徒もいました。春のひととき、それぞれに遠足を満喫することができました。



### 楽しかった野毛山動物園

5月17日(火)、とても良い天気、春の陽気どころか夏の様な天候の中、幼少グループは野毛山動物園に行ってきました。この日は動物たちの鳴き声だけでなく、近隣の幼稚園や小学校のお友だちもた

くさんいて、園内はとっても賑やか! はぐれないようにゆっくりと移動しました。暑さで少しバテ気味の動物もいましたが、トラやキリンが食事をしていたり、クマが水浴びをしていたり、ペンギンがプールでスイスイ泳いでいたり、たくさんの動物たちの色々な場面に出会うことができました。

なかよし広場では、モルモット、ハツカネズミ、ニワトリに触れる体験をしました。初めてのお友だちも、何度目かのお友だちも、ドキドキしながら指先で触ったり、膝にのせて手の平でなでたり、大胆に抱きしめてみたりと、それぞれの距離感でふれあいをしました。動物たちと一緒にたくさんの思い出ができた一日でした。



## 視覚障害



### 「視覚障害者と深い関係、浪曲」

浪曲をご存じだろうか。広沢虎造の『森の石松』などが有名である。この浪曲は、視覚障害者と深い関係にある。浪曲などの演芸を「語り」という。浄瑠璃だとか琵琶あるいは説教節などが語りの伝統をひきついでいる。この「語り」の伝統を探っていくと「耳なし芳一」に行き着く。この物語は、ラフカディオ・ハーン「怪談」に出てくる。目の見えない琵琶法師に壇ノ浦で破れた平家の亡霊が取り憑く話である。

さて、この設定は、架空ではなく『平家物語』の成立と深く関わっている。平家物語は、元々「語りもの」で目の見えない琵琶法師によって当時の全国に伝えられた。平家物語は、たくさんの版が残されているのもそのためらしい。視覚障害者は長く日本文化の担い手であったのだ。



5月28日(土)、涼しい天候と晴天に恵まれた今年の運動会は、元気な行進により開幕しました。今年も各部とも、頑張ってお練習してきた成果が発揮されました。

幼小グループの「ペンギン体操」ではそれぞれがペンギン

になった可愛い衣装が映えていました。小中グループの「祭りだNIPPON!」はカッコいい演技と太鼓の迫力に、大きな拍手をいただきました。高等部普通科のスーパーマーチングバンドはドラムリズムに合わせた行進とバルーンによる個人技が見事でした。専攻科生活科の「ダンシング・ヒューマン」は、華やかな集団隊形と組体操技が素晴らしかったです。



そして、今年の理療科の鉄線走は手に汗握り、応援する声も大きく感じました。新任の先生、学生ボランティア、介護等体験の学生や保護者などによる本気の走りを応援する声で活気に溢れ、会場は大盛り上がりでした。どの種目も意欲に溢れ、紅組白組ともに力を尽くした接戦でしたが、今



年度勝利を得たのは白組でした!

しかし、紅組も素晴らしい頑張りをを見せてくれて、成績発表は両者をたたえる拍手が大きく響きました。会場全体が一つになったチキチキバンバンは、今年も児童・生徒の皆さんには良い思い出となったことと思います。活気と意欲に満ち溢れる運動会が実施できたことは、皆様のご協力があったからこそと感謝申し上げます。ありがとうございました!

◎2016年の主な行事予定◎

- 7月 22日(金)～8月25日(木) 夏休み
- 8月 26日(金) 授業開始
- 9月 16日(金) 幼小グループ 遠足  
26日(月) 創立記念日(創立127周年)  
28日(水) 高等部普通科 秋の遠足  
28日(水)～30日(金) 中学部 修学旅行
- 10月 1日(土) 学校開放(移動動物園)  
7日(金) 前期終業式  
11日(火)～12日(水) 秋休み  
13日(木) 後期始業式  
20日(木)～21日(金) 生活科 研修旅行  
21日(金) 幼小・小中グループ合同 秋の遠足  
25日(火)～27日(木) 高等部普通科 修学旅行
- 11月 3日(木) 保護者参観日  
オープンキャンパス  
4日(金) 理療科 解剖見学  
19日(土) PTAバザー
- 12月 3日(土) 普通部 第1次入学検定  
10日(土) 神奈川県盲学校サウンド・テーブルテニス大会  
23日(金) クリスマス礼拝・祝会  
27日(火)～1月6日(金) 冬休み

臨床実習のご案内

当学院では授業の一環として、あんま・マッサージ・指圧および、はり灸の臨床(治療)を行っています。是非ご利用下さい。



★あんま・マッサージ・指圧・はり灸…水・木・金曜日

料金 一律 1000円

時間 前半 9:50～  
(各50分ずつ) 後半 10:50～

◆ご予約はお電話で!  
当日の朝 8:45～9:10  
電話 090-9009-5882

◆お問い合わせは理療科まで  
電話 045-662-1833

思うツボ

こむらがえり

ふくらはぎの筋肉が高度に収縮してしまった状態。ギュッと縮みっぱなしになり、強く痙攣しているので激しい痛みとなります。激しい運動や過労の他、体内の水分が失われたとき(激しい下痢など)も起こりやすくなります。運動で汗をかいたり下痢で水分を失ったりすると、筋肉を正常に動かす調整が狂い、筋肉が縮みっぱなしになり、こむらがえりが起こるのです。起こった時には、縮みっぱなしの筋肉をとにかく伸ばすことです。痙攣している筋肉と反対側にグッと伸ばします。それにより筋肉のバランスが元通りになります。また、運動後や寝る前にコップ一杯の水やスポーツドリンクを飲むと、失われた水分と電解質を補え、予防にもなります。

◎こむらがえりに効くツボ/地機(ちき)穴

場所: すねの骨の内側。内くるぶしと膝蓋骨(しつがいこつ:膝のお皿の骨)を結ぶ線を3等分し、内くるぶしから上に2/3の高さ  
 効能: こむらがえり・食欲不振・腹痛など



## 賛助金・寄附金並びに寄贈品・ご招待の御礼

平素より、本学院の視覚障害教育にご理解ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。  
2015年度(2015年4月1日～2016年3月31日)における皆様からの賛助金・寄附金並びに各種ご招待は、下記の通りとなりましたので、ご芳名を掲げ感謝申し上げますとともに御礼申し上げます。

### 〔賛助金〕ご芳名(50音順、敬称略)

(個人)

秋山修一(秋山眼科医局)、阿佐光也、綾部匡之、荒井勝彦、吉岐良夫、石井和子、井田洋一郎、伊藤顕司、岩永英治、岩本日出雄、江藤潔、榎並とし子、越猪勝弘、大島雅久子、小笠原啓、小川咲美、奥津勉、沖野佳子、貝嶋麗奈、片山恵美子、加藤久枝、金村駿汰、北村光之、菊島紘子、岸本英樹、久能徹、小岩井秀子、古賀裕子、小菅訓子、小林剛、小林誠治、小山学史、斎藤龍二、佐々木淳一(佐々木クリック)、佐藤正幸、柴田昌一、柴田寛昌、新藤啓二、新藤有美子、鈴木晴子、高橋晃樹、嶽澄夫、田中純子、田中房子、田沼圭介、土屋博、徳永ますみ、中沢潤子、中澤恵江、中澤泰明、中村知恵美、中山勝矢、中山貞子、長谷川知之、長谷川光正、塙将一、塙忠蔵、早水利行、深沢和子、藤森和子、古河志津子、古旗誠、星祐子、細田道子、正岡幸伸、丸山恵子、水谷直矢、水谷年江、武藤鎮子、棟広隆、村瀬統一、孟学琳、森田厚、森谷すみ、矢島保道、安貴、安順子、矢野榮子、矢野豊、矢部雅文、山科俊子、山田一夫、山田典子、山中正子、山中幸也、吉澤美智子、吉田和一、吉見華歩、依田康子、渡辺千春、渡部清、MO FUNING、匿名

(教会関係)

キリスト教保育連盟神奈川支部、宗教法人基督兄弟団横浜教会、宗教法人横浜シオン・キリスト教会、捜真バプテスト教会 女性会、チャーチ・オブ・ゴッド川崎キリスト教会、日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団篠原教会、日本キリスト教会横浜海岸教会、日本基督教団浦和東教会、日本基督教団横浜上原教会 婦人の会、日本基督教団鎌倉教会、日本基督教団川崎境町教会、日本基督教団喜多方教会、日本基督教団久里浜教会教会学校、日本基督教団小岩教会教会学校、日本基督教団清水ヶ丘教会、日本基督教団新丸子教会、日本基督教団田園江田教会、日本基督教団田園調布教会、日本基督教団西千葉教会、日本基督教団松戸教会、日本基督教団翠ヶ丘教会、日本基督教団目白教会、日本基督教団目白教会 婦人会、日本基督教団横浜磯子教会、日本基督教団横浜大岡教会、日本基督教団横浜港南台教会、日本基督教団横浜指路教会、日本基督教団横浜二ツ橋教会、日本基督教団六角橋教会、日本バプテスト厚木教会、日本ルーテル教団戸塚ルーテル教会、野毛山キリストの教会

(学校関係)

青山学院初等部、青山学院幼稚園保護者会、厚木幼稚園、かえて幼稚園、片瀬のぞみ幼稚園、一般財団法人神奈川県私立学校中学高等学校協会、上星川幼稚園、関東学院のびのびのびの園、関東学院六浦小学校、関東学院六浦中学校高等学校、菊名愛児園、鷗沼めぐみルーテル幼稚園、呉竹鍼灸柔整専門学校、相模翠ヶ丘幼稚園、早苗幼稚園、サレジオ学院幼稚園、サンモールインターナショナルスクール、捜真小学校、捜真小学校PTA、田園江田幼稚園、ドレーパー記念幼稚園、日本聾話学校、フェリス女学院大学奨学会、フェリス女学院中学校・高等学校バザー部門、目白平和幼稚園、横浜愛隣幼稚園、横浜インターナショナルスクール、横浜インターナショナルスクールイングリッシュカンパセーショングループ、横浜英和学院、横浜学院幼稚園、横浜訓盲学院PTA、横浜三育幼稚園、横浜女学院中学校高等学校、横浜雙葉小学校、横浜雙葉中学・高等学校(その他団体)

アンケベル・ジャパン(株)、(株)安藤・間 横浜営業所、(株)オーチャー、(株)大山組建材、(株)加藤機器製作所、神奈川韓国青年商工会、神奈川県眼科医会、(株)神奈川クッキングサービスセンター、(株)協同ビルテック、(株)仁友社(MJデザイン研究所)、(株)清光社、(株)泰山園、(株)タスキ横浜、テクタイト(株)、社会福祉法人東京点字出版所、東洋観光(株)、日興テクノス(株)、ニュートヨオト(株)、南増山住設、(株)松本木工、宮崎ピアノ工房、(有)ヤマキ文具店、横浜関内ライオンズクラブ、社会福祉法人横浜市中区社会福祉協議会、横浜南央ロータリークラブ、(株)吉田電機、渡辺商事(株)

### 〔特別寄附金〕

財みずほ教育福祉財団  
ILBS国際福祉協会

〔賛助金〕5,367,049円

〔特別寄附金〕745,000円

〔合計〕6,112,049円

### 〔現物寄附〕

相模女子大学子ども教育学科 教授 河尾豊司 (拡大鏡 1枚)  
平成26年度理療科卒業生 (解剖東洋医学の図 3点)

### 〔その他寄贈品〕

赤堀智見、(株)安藤・間 横浜営業所、宇佐美芳弘、エロシエンコ125事務局、社会福祉法人桜雲会、(株)オーチャー、株式会社大山建材、社会福祉法人岡山ライトハウス、沖野佳子、春日主計範、木下誠、金融広報中央委員会、サントリービバレッジサービス(株)、社会福祉法人視覚障害者支援総合センター、(株)ジャパンビバレッジセントラル、公益財団法人JAL財団、湘南ビジネスネット、公益財団法人すこやか食生活協会、鈴木仁、社会福祉法人全国心身障害児福祉財団、(株)泰山園、田口謙吉、田口三津子、田中房子、土屋博、TBSラジオ編成局編成部、東京ガス(株)、富田香(平和眼科)、豊橋ともしび会、土路生百代、株式会社ニッポン放送、公益財団法人日本テレビ小鳩文化事業団、日本放送協会、社会福祉法人日本点字図書館、社会福祉法人日本盲人福祉委員会、社会福祉法人日本ライトハウス情報文化センター、博多湾岸金印ロードプロジェクト実行委員会、NPO法人藤枝光文庫、文化放送、毎日新聞社、メンタルケアメーク21、孟学琳、矢野榮子、発砲印刷やまゆりの会、NPO法人ユニバーサルデザイン絵本センター、横浜訓盲学院同窓会四つ葉会、社会福祉法人横浜市中区社会福祉協議会、(株)横浜DeNAベイスターズ、株式会社横浜八景島、渡部清

### 〔ご招待〕

神奈川県遊技場協同組合 / 神奈川福祉事業協会

### 地と花壇を整備しました

5月14日(土)・15日(日)の2日間  
に渡り、横浜南央ロータリークラブ  
(会長 小柳秀幸様)の皆様により、  
畑の整地と花壇を整備しお花を植  
えていただきました。  
本当にありがとう  
ございました。



### ご協力をお願い

2016年度  
(平成28年度)

賛助会員

私どもの視覚障害教育にご理解いただき、ご支援下さる団体・個人の方々の賛助会員を募らせて  
いただいております。よろしくご協力申し上げます。

〔年会費〕 法人(1口)10,000円 / 個人(1口)1,000円(口数は問いません)

〔お支払い方法〕 ・郵便振替〔加入者名〕学校法人横浜訓盲学院(口座番号00200-5-40861)  
・現金

〔その他〕 会費以外に寄附金も有難くお受けいたします。

〔お問合せ先〕 横浜訓盲学院 事務部 TEL.045-641-2626